

## 当初予算の主な事業

### 新型コロナウイルスワクチン接種事業

3億2,467万8千円

予防接種法に基づき、新型コロナウイルスワクチンについて、18歳以上の追加接種対象者、12歳以上の未接種者および5歳から11歳までの希望される方に接種を実施するために必要となる経費です。

(対象者)

- ・追加接種対象者 82,978人
- ・12歳以上の未接種者 14,241人
- ・5歳から11歳までの方 7,303人



### 予防接種事業

4億6,080万8千円

#### うちHPVワクチン分

1億5,800万6千円

HPVワクチンについて、積極的勧奨を再開するために必要となる経費です。  
なお、定期接種からはずれる17歳から25歳までの方に対してもキャッチアップ接種として予防接種が実施されます。\*HPVワクチンとは、子宮頸がんワクチンのことです。



### 小学校教育用コンピュータ整備事業

1億6,186万3千円

各教科等の目的達成および情報教育の一層の推進を図るため、教育用コンピュータ等の整備・充実を行うために必要となる経費です。

### 彦根城世界遺産登録推進事業

2,534万2千円

#### うち彦根城世界遺産登録推進協議会負担金

2,500万円

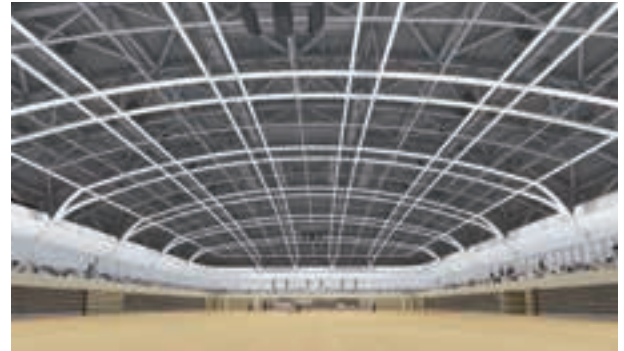
彦根城の世界遺産登録の実現に向けて、推薦書原案の作成などを県市連携で行うとともに、情報発信・啓発活動を行うために必要となる経費です。



彦根市スポーツ・文化交流センター整備事業  
彦根市スポーツ・文化交流センター管理運営事業

22億4,080万6千円  
6,736万5千円

スポーツと文化がつながる新しい市民交流の拠点である彦根市スポーツ・文化交流センターの整備を行うために必要となる経費、および令和4年12月供用開始に向け、雑誌や図書等の購入などの開館準備業務を行うとともに、オープン時のイベント実施、住民サービスの向上と効果的かつ効率的な管理運営を行うため、指定管理者への施設の管理運営委任に必要となる経費です。



▲メインアリーナのイメージ

ごみ焼却場整備事業

11億9,311万5千円

長寿命化計画に基づくごみ焼却施設の大規模修繕(令和3年度から令和6年度まで)と長寿命化工事中に可燃ごみを外部搬出し処理を行うために必要となる経費です。



公共交通活性化事業

5,146万3千円

うちグリーンスローモビリティ社会実験支援業務委託料

842万6千円

彦根城の世界遺産登録を見据え、彦根城周辺地域の渋滞を緩和するための手段のひとつであるグリーンスローモビリティによる社会実験を行うために必要となる経費です。

※グリーンスローモビリティとは、時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両を含めた総称のことです。



▲グリーンスローモビリティのイメージ

インターネットによる市政情報発信事業  
うち備品購入 (YouTube 配信関係)

816万9千円  
30万円

YouTube動画配信により、SNSと連動した市政情報発信を図るために必要となる経費です。

## 予算常任委員会

### 議案19件を可決

予算常任委員会は、3月11日(金)、14日(月)、15日(火)、22日(火)、25日(金)に委員会を開催し、19件の議案について慎重に審査しました。

#### 【審査】

- ・ 議案第5号、 議案第6号、 議案第7号、  
議案第8号、 議案第9号、 議案第10号、  
議案第11号、 議案第12号、 議案第13号、  
議案第14号、 議案第30号、 議案第31号、  
議案第32号、 議案第33号、 議案第34号、  
議案第35号、 議案第36号、 議案第37号、  
議案第38号

#### 【主な質疑】

- Q 国際観光事業の多言語パンフレット作成委託料では何語の多言語マップを作成するのか。  
A 英語・中国語・韓国語を想定している。
- Q パンフレットの作成時期は。  
A 国庫補助金が確定する6月を想定している。

#### 【議員間討議で出た意見】

- ・ 既にパンフレットはあるので不要。
- ・ 外国人旅行客はインターネットで調べる傾向であり不要。

#### 【主な討論】

○議案第6号に対して

反対 財政再建のためには企業誘致など外部から資本を呼び込むのではなく、地域経済対策やリフォーム事業、地産地消の学校給食などで地域の経済を循環させることが大切であり予算をつけるべきであるが、その覚悟が現れていないことから反対する。

賛成 商工費や土木費など3億6,900万円が減額されたものの、前年度比7.9%増の497億6,900万円となった。前年度までの箱物投資の影響が大きく財政調整基金残高も16億円になった。これまでの8年間をリセットするのも1年や2年ではできるはずもなく、本庁舎やスポーツ・文化交流センターに係る市債の長期の返済が続くことになる。本来は縮小すべきではあるがどうしても削れない事情を理解した上で賛成する。

#### 【結果】

- ・ 議案はいずれも原案のとおり可決

## 市民産業建設常任委員会

### 彦根市公園条例の一部を改正する条例案等、議案3件を可決

市民産業建設常任委員会は、3月17日(木)に委員会を開催し、3件の議案について慎重に審査しました。

#### 【審査】

- ・ 議案第21号、議案第24号、議案第25号

#### 【主な質疑】

- 議案第21号に対して
  - Q スポーツ・文化交流センターのように、1時間当たりの使用料としなかった理由は。  
A 既存の施設の運用に整合させた。
  - Q 減免に対する制度の考えは。  
A 教育委員会主催のイベントなど一部においては減免措置をしている。
- 議案25号に対して
  - Q この契約の設計業者は。  
A 廃棄物のコンサルタントの環境技術研究所である。
  - Q 契約金は妥当であったのか。  
A 妥当だと考えている。

Q 入札の参加者数、そして落札率は。

A 参加した事業者は、一者のみ。

落札率は、97.7%であった。

Q ゴミを外部拠出するための設備工事とは。

A 市外へ搬出して処理をするための外部搬出装置の工事。

Q 入札業者が少ない理由は。

A 大規模な改修工事であり、このための技術を持っているところが少なく、結果、今回の仕様の中で応札は一者しかなかった。

#### 【結果】

- ・ 議案はいずれも原案のとおり可決